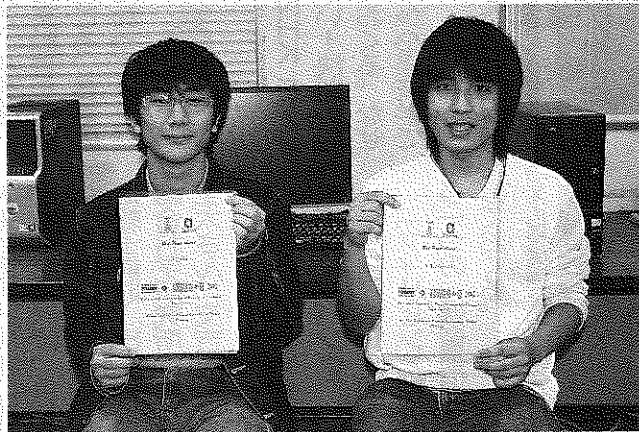


(3) (第三種郵便物認可) 平成27年(2015年)10月19日(月曜日)

# タイ国際学会で入賞

## 野田さん、山口さんが研究発表

### 有明高専から4年連続



賞状を手にする野田さんと山口さん(左から)

大牟田市東萩尾町、有明工業高等専門学校専攻科1年の野田武司さん(21)と山口賢二さん(22)はタイで開かれた国際学会で入賞した。同高専から同学会で入賞するのは4年連続となる。

2人は生産情報システム

工学専攻。8月27、28日にバンコクで行われた日本、タイ、ラオス、韓国、中国の5カ国による「ICAME(電子工学および機械工学の国際会議)」に参加した。約90件の発表があり、そのうち入賞できるのは上位1割ほど。

野田さんはピリヤードの初級者支援システムの研究でベストペーパー賞を受賞。ピリヤードテーブルの上部に取り付けたカメラでボールの位置を読み取り、キューを当てるだけで軌道を光で照らし出すというシステムだが、今回はさらに目の高さにもカメラを装着。上からと目線から、2方向の画像をパソコンに無線で送ってプレイヤーの位置を把握し、より精度の高いコース選択が可能になったという。

山口さんはコンピュータのブルートフォースアタック(自動化されたプログラムでIDとパスワードを総当たりで試していく攻撃)を防ぐためのシステムを研究し、ベストポスター賞を受賞。攻撃の挙動を観

察し、その結果を基に防御法を検討して実装するものだという。

2人とも初の学会で、英語での発表も初めて。「発表は緊張しましたが、質問に答えるのが難しかった。英語の重要性を実感しました」と振り返る。「今後は発表したシステムを完成させ、検証していく」と野田さん。山口さんは「専攻科に入ってからテーマを変更したのですが、現在取り組んでいる研究についても学会で発表したい」と話していた。

(河野 美緒)